

講演要旨集・広告掲載のご案内

2019.12

クロマトグラフィー科学会

441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学大学院 工学研究科

環境・生命工学系 生命・物質コース

分子機能化学分野 マイクロ分離科学研究室内

謹啓

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素よりクロマトグラフィー科学会の活動に対し、多大なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、来たる2020年6月3日（水）～5日（金）に、徳島大学・常三島キャンパス・地域連携プラザ（徳島市）において、クロマトグラフィー科学会主催の「第27回クロマトグラフィーシンポジウム（CS27）」（実行委員長 高柳俊夫、徳島大学大学院社会産業理工学研究部）を開催することになりました。

クロマトグラフィー科学会は、学会設立以来30年間に亘り、クロマトグラフィー関連の研究に携わっておられる方々の情報交換の場として、シンポジウムと科学会議という形で年2回の学会を開催しております。現在、クロマトグラフィーは、医学、薬学、理学、工学、農学など幅広い分野における基盤技術として広く用いられており、一方、新規技術もたゆまなく開発され、またその応用分野も着実に広がっております。

第27回クロマトグラフィーシンポジウムでは、初日のワークショップにて「体内動態を測るクロマトグラフィー」をテーマに設定しました。体内動態の研究は医薬品をはじめとする対象物質の有効性や毒性評価など極めて重要な役割を持ち、分析技術としてクロマトグラフィーの手法は必要不可欠となっています。本ワークショップでは、医薬品開発において注目が高まっているICH-M10「生体試料中薬物濃度分析法バリデーション」の話題をはじめ、薬物動態分析、バイオマーカーや代謝物の体内動態、ドラッグデリバリーシステム、違法薬物・危険ドラッグの体内動態、環境中化合物の体内動態についての話題を提供していただき、クロマトグラフィーが貢献できる領域を議論したいと考えています。

また、2日目以降のシンポジウムでは、招待講演、依頼講演のほか、一般講演（口頭、ポスター）、技術講演等を予定しています。会期を通じてクロマトグラフィーや電気泳動法関連の新しい技術と応用についてご発表をいただき、講演者をはじめ参加者の皆様と共に活発に意見交換をしていきたいと考えています。

つきましては、クロマトグラフィー及びその周辺技術の開発に関係の深い貴社製品の広告をご出稿賜り、本会の益々の発展にご協力をいただきたく、お願い申し上げます。

謹白

第27回クロマトグラフィーシンポジウム

実行委員長 高柳俊夫（徳島大学大学院社会産業理工学研究部）

第27回クロマトグラフィーシンポジウム・開催概要

実行委員長：高柳俊夫（徳島大学大学院社会産業理工学研究部）

主催：クロマトグラフィー科学会

協賛予定：日本化学会、日本分析化学会、日本薬学会

2020年6月3日（水）～5日（金）

会場：徳島大学・常三島キャンパス・地域連携プラザ（徳島市）

招待講演・依頼講演、一般講演、技術講演、ランチョンセミナー、情報交換会、展示会

広告掲載のご案内

◆ 掲 載 要 項 ◆

募集媒体 第27回クロマトグラフィーシンポジウム・講演要旨集

発行予定日 6月3日（水）

発行部数 1,000部

サイズ A4判

頁	サイズ・カラー		掲載料金（税別）	入稿形態
表 2	1頁	㊦26cm×㊦18cm、㊦1C	¥90,000	白黒 完全データ (出力見本添付)
表 3	1頁	㊦26cm×㊦18cm、㊦1C	¥70,000	
表 4	1頁	㊦26cm×㊦18cm、㊦1C	¥100,000	
後 付	1頁	㊦26cm×㊦18cm、㊦1C	¥50,000	
後 付	1/2頁	㊦12.5cm×㊦18cm、㊦1C	¥30,000	

※原稿製作費は実費をご請求させていただきます。

申込み締切 4月22日（水）

原稿締切 5月12日（火）

お問い合わせ・お申込み

株式会社 明 報 社

〒104-0061 東京都中央区銀座7-12-4 友野本社ビル
 TEL (03) 3546-1337 FAX (03) 3546-6306
 E-mail info@meihosha.co.jp
 ホームページ http://www.meihosha.co.jp

『第27回クロマトグラフィーシンポジウム 講演要旨集』 広告掲載申込書

下記の通り広告掲載を申込みます。

お申込日	年 月 日
貴社名	
ご住所	〒
TEL : () - / FAX : () -	
E-mail :	
部署・ご担当者氏名	Ⓔ
掲載場所・頁数	
掲載料金	円（税別）
原稿完成予定日	月 日